



片中だより 2月号

発行・編集:吹田市立片山中学校
令和7年(2025年)1月29日 発行

～自ら学び 自ら考え 自らつながる片中生の育成を目指して～

〒565-0835 大阪府吹田市竹谷町35-1 TEL:06-6387-1041 <http://www2.suita.ed.jp/school/jhs/06-katayama>

Think Globally,Act Locally

～ 地球規模で考え、身近なところから行動する ～

校長

まもなく2月、立春を迎えます。片中の正門の桜の木を見上げてみると、硬く小さな花の芽が少しずつ少しずつ…膨らみ始めていました。寒い日の中でも、小さな春の兆しに喜びを感じる頃です。片中では3年生が、進路決定に向けて仲間と励ましあいながら努力を続けています。1、2年生は合唱コンクールに向けて仲間と協力しながら練習を重ねているところです。2月は、次の学年や新しい生活の土台を作る大切な時期。目の前のことに集中しながら、希望や目標をもって春を迎える準備をしていきましょう。

さて、1月14日に、片中では地震を想定した防災訓練を実施しました。今回の訓練では、いつ訓練が開始されるのか時間は予告せず、訓練の緊急放送を聞いて、自分で考えて自らの命を守る行動をとる訓練としました。いかなる状況においても、片中生一人一人が自らの安全を確保できるようにと、いつもの避難訓練を少し変化させた訓練でした。実際に災害が起こった時を想定し、周囲の状況の判断と自分の命を守るためには、どういった行動が必要か。片中生それぞれが主体的に考えながら、避難訓練を行っていました。『訓練は、本当の災害が起こったつもりで行動する』、『本当の災害が起こったときは、訓練のように落ち着いて行動する』ことが大切です。今後も、このような避難訓練を重ねて、片中全体で不測の災害に備えていければと思います。

『Think Globally,Act Locally (シンク グローバリー、アクト ローカリー)』という言葉があります。『地球規模で考え、身近なところから行動する』といった意味になります。今、世界中で起こっている多くの災害の背景には、気候変動や環境問題があり、これらは地球規模で考えていかなければならない課題があります。世の中のたいへんな状況を考えると、一人一人の小さな力は何の変化ももたらさないように感じますが、決してそうではありません。たとえ自然災害が起きたとしても、本当に守らなければならない人の命は、災害に会ったその時その場所での一人一人の落ち着いた行動にかかってきます。地球規模の問題を考えながら、身近な場所での実際の行動が大切なのです。

『Think Globally,Act Locally』

3年生は、今、それぞれの大きな目標に向かって努力していると思います。やればやるほど、やれていないことやできていないことが見えてくるので、どうしても焦った気持ちになるかもしれません。しかし、焦る必要はありません。なぜなら、その焦りはやることをやっていると生まれてこないものだからです。考えることや悩みは大きく膨らみがちですが、あきらめずに、今は目の前のことにコツコツと取り組むしかありません。今できることやれることをしっかり行動に移していきましょう。

片中生に、春よ、来い！心から願っています。



～ 学校の様子 ～

避難訓練

1月14日、地震を想定した避難訓練を実施しました。2時間目と3時間目の間の休み時間、地震の揺れと身を守る行動をするように緊急放送が流れ訓練が開始されました。揺れのおさまりと避難の指示が出ると、速やかに走らず慌てずグラウンドに避難をしていました。今回の避難訓練が訓練だけで終わるのではなく「いざ」という時のことを考え、「備える」機会になればと考えています。なお、本校のホームページに災害発生時の対応について掲載しております。この機会に、確認しておいてください。



<https://www.suita.ed.jp/school/jhs/06-katayama/index.cfm/7,0,55.html>

吹田市『中学生の主張』大会



1月18日(土)、吹田市『中学生の主張』大会が千里市民センター大ホールで実施されました。片中からは、2年生の代表者が『あの人達のように』という主張テーマで発表をしてくれました。日ごろのクラブ活動や習い事で励ましてくれた人への感謝から、自身も人々にいい影響を与える人に成長したいと思いを語ってくれました。



～ お知らせ ～

紙面のみ
掲載とさせていただきます。

